

ソローストープ展示販売店のご案内

各店ではソローペレットも販売しています(1袋 10キロ／税込 637 円、他社製ストープにも使えます)。

【八郷 体感ルーム】

茨城県石岡市小見 1048-1
電話 **0299-57-1181**
【営業時間】
10:00～17:00
【定休日】水曜日、日曜日、
祝日、年末年始
【交通】
・恋瀬小から約0.8km ・福原駅から約9.0km
・フラワーパークから約9.8km ・石岡駅から約16.7km



駐車場
あり

【千葉 体感ルーム】

千葉県千葉市若葉区貝塚 2-2-3
電話 **043-308-4188**
【営業時間】
10:00～17:00
【定休日】水曜日、日曜日、
祝日、年末年始
【交通】
・JR 都賀駅から徒歩 12 分
・JR 千葉駅からバスで 20 分
・京葉道路「貝塚 IC」出口から車で 5 分



駐車場
あり

【益子町】

もえぎ本店
栃木県芳賀郡益子町上大羽堂ヶ入 2356
電話 **0285-70-8111**
【営業時間】11:00～18:00
(11～2月は17:00閉店)
【定休日】水曜日、年末年始



駐車場
あり

【小山市】

インテリアショップ F-ism
栃木県小山市駅南町 4-27-1
電話 **0285-39-6626**
【営業時間】11:00～20:00
【定休日】火曜日、第2・第4
月曜日、臨時休業あり



駐車場
あり

【宇都宮市】

筑波産商ショールーム
栃木県宇都宮市下栗町 2292
電話 **028-656-3721**
【営業時間】10:00～17:00
【定休日】水曜日、年末年始、
臨時休業あり



駐車場
あり

ソローペレットが、最寄りの ホームセンター等で1袋から買えます。

●茨城県、福島県、栃木県の「ホームセンター山新」全店で
ペレットをお買い求めいただけます。

里山ホテル ときわ路

常陸太田市増井町
電話 0294-72-4141 営業時間 9:00～21:00

ジョイフル本田 ニューポートひたちなか

ひたちなか市新光町 34-1
電話 029-265-5325 営業時間 9:00～19:30

ホームジョイ本田 石下店

常総市古間木 1850
電話 0297-30-8888 営業時間 9:00～19:00

住宅リフォーム工房

筑西市二木成 1460
電話 0120-22-6675 営業時間 10:00～18:00

ジョイフル本田 古河店

古河市西牛谷 347
電話 0280-98-2531 営業時間 9:00～19:00

ホームジョイ本田 潮来店

潮来市須賀 2837-1
電話 0299-66-7777 営業時間 9:00～19:00

伸栄工業株式会社

かすみがうら市上稲吉 1751
電話 029-831-5315 営業時間 8:30～17:30

ジョイフル本田 荒川沖店

土浦市北荒川沖町 1-30
電話 029-841-2211 営業時間 9:00～19:30

茨城県

千葉県

住まい工房ナルシマ

取手市駒場 2-14-12
電話 0120-885-119 営業時間 8:30～19:00

ジョイフル本田 守谷店

守谷市松ヶ丘 3-8
電話 0297-48-8020 営業時間 9:00～19:30

蔦ストープのアースリー香取本店

香取市津宮 3982-63
電話 0120-56-2669 営業時間 9:00～18:00

ジョイフル本田 千葉ニュータウン店

印西市牧の原 2-1
電話 0476-47-6811 営業時間 9:00～19:30

白門建設

千葉市稲毛区小沖台 4-13-10
電話 043-285-3888 営業時間 9:00～17:00

千葉県森林組合 北部支所

市原市飯給 1079
電話 0436-96-0004 営業時間 8:00～17:00

千葉県森林組合 北総事業所

東金市上布田 190
電話 0475-55-9474 営業時間 8:00～17:00

いすみの直売所 ごじゃ箱 岬店

いすみ市岬町井沢 1896-1
電話 0470-87-8580 営業時間 9:00～17:30

千葉県

栃木県

ローカルダイニング TOTOYA

山武市松尾町木刀 1340 電話 0479-86-6060
営業時間 11:00～14:00、17:00～20:00

ログハウスのメイン・ハウゼ

茂原市千町 1003-9
電話 0475-44-7000 営業時間 10:00～18:00

ジョイフル本田 君津店

君津市外箕輪 3-7
電話 0439-55-0111 営業時間 9:00～19:00

千葉県森林組合 安房事業所

南房総市和田町黒岩 380-5
電話 0470-47-2227 営業時間 8:00～17:00

千葉県森林組合 安房事業所

南房総市和田町黒岩 380-5
電話 0470-47-2227 営業時間 8:00～17:00

アブラ 新松戸本店

松戸市新松戸 5-149
電話 047-348-5070 営業時間 9:00～18:00

筑波産商ショールーム

宇都宮市下栗町 2292
電話 028-656-3721 営業時間 10:00～18:00

もえぎ 本店

芳賀郡益子町上大羽堂ヶ入 2356
電話 0285-70-8111
営業時間 11:00～18:00 ※11～2月は17:00閉店

ジョイフル本田 宇都宮店

河内郡上三川町磯岡 421-1
電話 0285-57-2111 営業時間 9:30～19:30

インテリアショップ F-ism

小山市駅南町 4-27-1
電話 0285-39-6629 営業時間 11:00～20:00

サンタヒルズ

那須郡那珂川町三輪 967
電話 0287-96-4622 営業時間 9:00～18:00

茨城県

ソローペレットについてのお問い合わせは以下のフリーダイヤルまで。

0120-058-059

カタログハウス ソロー事業部

カタログハウスお客様センター
月～金は午前9時～午後7時
土曜は午前9時～午後6時(日曜祝日は休業)

カタログハウス ソロー

検索

ソロー
ペレット1袋
(10キロ)
637円
(税込み)



ソロー

Thoreau



第7号
2018年1月



「今月の森人」
片岡信夫さん
(6頁参照)

栃木県の木材取引の現場では 取引価格の 安定化に向けた 取り組みが始まっている。

県土の約55%を森林が占める栃木県。充実した森林資源を最大限に活用するため、従来の間伐中心の林業から、「伐って、植えて、育てて、伐る」皆伐中心の循環型林業への転換が進んでいます。しかし、素材生産が増加傾向にありながら、取引価格が不安定という大きな問題を抱えているのが現状です。その原因を探るため、木材取引を行う原木市場を訪れました。

野中典子（ライター）／千葉慶一（小社ソロー事業部）

入札販売から協定販売へと転換し 採算割れしない安定した取引価格を実現

平成28年度より「とちぎ森林創生ビジョン」林業・木材産業の成長産業化と多様で元気な森林づくり」を掲げ、皆伐中心施策を促進し、素材生産量全国13位、関東甲信越地域1位と高い水準を誇る栃木県。用途別でもA材（製材用）が約90%を占めるなど（※1）、素材生産において量、質ともに地域をリードする存在になっています。

しかし、素材の取引価格の推移（図1参照）を見てみると、梅雨から夏場にかけて大きく値崩れし、秋から冬にかけて急騰するなど、季節毎に価格の乱高下が激しく、価格が非常に不安定という大きな問題を抱えていることがわかります。

素材生産において、これほど高い水準を保ちながら、どうしてこのような問題が生じるのでしょうか。

その原因と安定取引に向けた取り組みを探るために、栃木県森林組合連合会が運営する木材共販所（※2）のひとつ、大田原木材共販所を訪れ、所長の田中幸夫（57歳）さんとお話を伺いました。

「原木市場は原則月に2回行っています。共販所の区域内にある大田原、那須塩原市、那須町、那須南の4つの森林組合を中心に、民間の素材業者や個人などから持ち込まれた素材を原木自動選別機で選別し、入札販売をしています。県内外約320社の登録業者のうち市に参加するのは毎回30社程度でしょうか。優良材を求めて、岐阜や秋田からも参加しています」。さらに、取引価格について伺うと、「以前

は、スギ柱材で高い時は15,000円～16,000円、安い時は8,000円～9,000円と約2倍近い開きがありました」。入札方式では、価格決定権が買い手にあること、素材生産の約90%をA材（製材用）が占めるため、製材需給によって価格が翻弄されてしまうことが原因と考えられます。そこで価格安定のための対策として、平成24年10月より、入札販売に加え、共販高額買受上位10社（※4）に対して協定販売（※5）による取引がスタートしました。その効果を伺うと、「価格が落ち込んでも10,000円を割ることはなくなり、平均して13,000円～14,000円位に安定しています。素材を出荷しても採算割れをすることもなくなりました」。協定販売の導入は、取引価格の安定に繋がっていることがわかります。

さらに、栃木県では、現在の素材生産量40万m³を平成32年までに1.5倍の60万m³に増やす目標を掲げています。今後、素材生産量を増やすためには、取引価格の安定はもちろんのこと、製材品の需要を増やすことが必要不可欠です。そこで「需給のミスマッチを減らすために、需要に応じて木材の供給ができる体制を整えています」と田中さんが話すように、素材生産の中心的存在である森林組合と製材業社や工務店をつなぐ木材共販所は、需給マッチングのための情報発信拠点としての役割を求められています。

このように、協定取引の促進と需給のマッチングという二つの観点から取引価格安定させることが、今後、林業・木材産業を成長産業へと躍進させるためにますます重要になってきます。

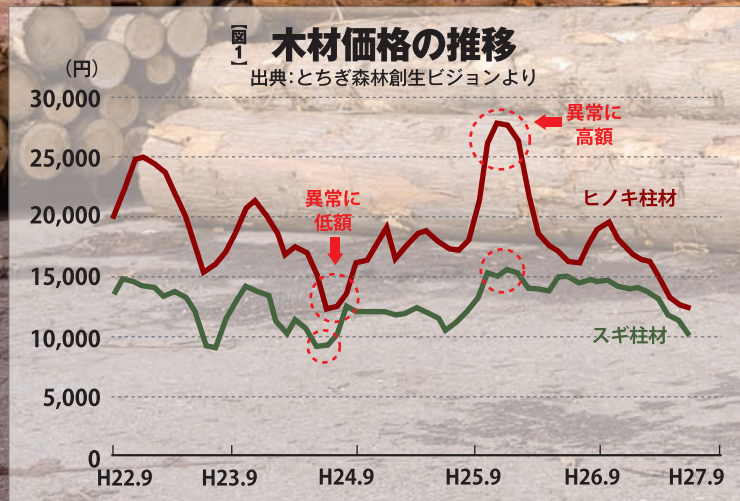
- ※1 茨城はA材78%、千葉はA材60%（出典：H27木材需給報告書「需要部門別素材生産量5年統計」より）
※2 鹿沼木材共販所、矢板木材共販所、大田原木材共販所がある。 ※3 当初は3カ月毎に価格を見直していたが、現在は1年間同価格で販売している。
※4 共販高額買受ベスト10に変動があるため、県環境森林部と協議の元、平成29年10月より11業者に変更。
※5 競争による価格の下落を防ぐために、販売価格について協定を結ぶこと。当初は3カ月毎に価格を見直していたが、現在は1年間同価格で販売している。



栃木県北東部の八溝山系の山で伐採される「とちぎ八溝材」。目がつまり、色もよく、構造材として最適。



平成28年に森林整備加速化・林業再生基金事業の適用を受け最新機の入札自動選別機が導入された野木場



太田原木材共販所の田中所長

整備の遅れる 千葉の人工林 林業再生の 鍵を握るのは？

人工林の高齢化が全国平均より早い千葉県(千葉県森林・林業統計書参照)。森林面積は減少しているものの、蓄積は年々増加し、本格的な利用可能な時期を迎えています。さらに、私有林率が89%と全国2番目に高く(第85回千葉県森林審議会資料参照)、小規模所有面積がほとんどで、集約化と機械化の遅れ、木材価格が低迷するなど、森林所有者の林業経営意欲も低迷しています。そんな状況の中、人工林の再生に取り組む2つの事業体を訪れました。

野中典子(ライター)／千葉県(小社ソー事業部)

目指すは少数精鋭集団。補助金に頼らない 小規模林業経営を目指す若き経営者の挑戦

千葉県南部の南房総市を拠点とする河内林業(※1)は、若い世代が意欲的に取り組む認定事業体(※2)です。今回は、千葉県森林組合からの依頼で間伐作業を行う

ちろん、ただ利益を出すことを目標にするなら、大型機械を導入し、大規模な皆伐をすればいいでしょう。それよりも山を整備、再生し、5年後、10年後に利益を出せる山として、山主さんに返していくことが、衰退した千葉の林業を再生させるために大切だと思っています。しかし、現状はまだまだ厳しいと言います。「植林後、約50年位全く手入れされてこなかった山も多く、伐採しても売り物にならないことも多いですね」。しかし、悲観してばかりもいられません。「林業は、50年、100年先の未来を見据えた難しい仕事です。大変なことも多いですが、だからこそ楽しく、やりがいを感じます」

最後に、河内さんの目標とする、補助金に頼らない林業が実現できるのは何年後か尋ねてみると、「10年後には実現したい」との答えが返ってきました。これからの千葉の林業は、若い力がきつと変えていく、そんな明るい未来を確信しました。

地元の良材「香取すぎ」の活用を通して、地産地消を目指す香取市木材協同組合の取り組み

千葉県北部に位置する下総(しもふさ)地区。かつては江戸まで100kmという地の利を生かし、良質の松や杉の供給地として栄えましたが、戦後、輸入材の需要が増え、松食い虫による松林の消滅など衰退の一途を辿ってきました。そこで、古来より良材として知られた下総杉を、ちばの木認証材「香取すぎ」としてブランド化し、新たな需要を増やすことで、森林を再生し、地域や環境に貢献しよ



伐採した香取すぎの前で話す、香取市木材協同組合理事長の亀村さん(右)と平野林業株式会社の平野栄一さん(44歳=中央、香取裕明さん(31歳=左)。「林業は危険な作業も多く、常に人材不足ですね。でもとてもやりがいのある仕事です」と、平野さん。



紅紫色という鮮やかな赤身が特徴の香取すぎ。実生で種から育つので、溝腐れなどの病気にも強い。

- ※1 従業員は30代2名、40代2名、60代1名の5名。
- ※2 「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、5カ年間の「改善措置計画」を作成し、千葉県知事の認定を受けた事業体をいう。現在8事業体が認定を受けている。
- ※3 平成17年設立。組合員16事業所。
- ※4 樹木を冬季の新月直前に伐採し、谷側に倒し、比較的長い期間林内に放置する方法で、燃えにくい、腐らない、反らない、虫がつかないという効果があると言われている。



小型のグラブブル、バックホウ等の林業機械が通れる幅の作業道をつくりながら伐木、は積みをしていく。

勝浦市の森林を訪れ、経営者の河内雅寛さん(38歳)に河内林業が目指す林業についてお話を伺いました。「補助金に頼らない、自立した林業が目標です。小規模な私有林が多いという千葉の特性に合わせ、小さく、でも効率よく、きちんと利益を出すことを目指しています。も

うと奮闘しているのが、香取市木材協同組合(※3)です。今回は、理事長の亀村俊二さん(59歳)に、組合員の平野林業株式会社が手がける、香取すぎの新月伐採(※4)の現場を案内していただきました。

「香取すぎは、艶のある紅紫(こうし)色が特徴で、冬目が細く、曲げ強度も強い良材です。原木市でも、サンブスギほどの知名度はありませんが、他の杉よりも2割から3割の高値がつきます」。さらに「香取すぎを利用して新築木造住宅を建てれば、千葉県と香取市の補助金を利用できるので、施主は最大50万円の助成を受けられます」と、亀村さん。香取すぎを活用することは、地産地消に繋がり、森林の再生だけでなく、消費者にとってもメリットが大きいのです。

このように香取すぎの活用を通して、地域経済を活性化させる地道な取り組みが、千葉県の林業を再生させる原動力に繋がっています。

間伐作業を終えた現場に立つ河内さん。ブルガリアで生まれ、千葉県市川市で育つ。高校卒業後、長野県の林業事業所に就職。その後、千葉県にUターンし、千葉県森林組合安房支所勤務を経て、2010年河内林業を立ち上げる。

片岡信夫さん

かたおかのぶお53歳（栃木県芳賀郡市貝町）

「お茶炭の伝統を通して、地域の暮らしを支えてきた広葉樹の林業を守り、この里山ならではの営みを次の世代につないでいきたい」

茶道の世界に欠かせない「下野菊花炭」の産地として知られる栃木県芳賀郡市貝町。古くから受け継がれてきた炭焼きの伝統を今に伝える「片岡林業」の8代目、片岡信夫さんを訪ね、この地域ならではの林業の歩みと課題について伺いました。

——地域でお茶炭の生産が広がった背景について教えてください。

「市員町は関東平野から八溝山地にかかる丘陵地にあり、なだらかな傾斜の林地は日当たりがよく、土壌の黒ボク土も養分を保ちやすいので、クスギの生育に最適です。幹はシイタケの原木、枝は炭葉は肥料として利用されてきました。住民のほと



写真上：窯の火入れから予備乾燥・着火・炭化の約7日間を経て、お茶炭が出来上がる。
写真下：クヌギ畑を手入れする信夫さんの父7代目の片岡一郎さん。

などは農家で、夏は農作物を作り、農閑期は冬場の仕事として、地域のクヌギを用いた炭焼きを始めました。それをお茶炭として販売することで、少量で利益が上がる経営が広がり、産地化したのです。町には大正時代から続く『市貝町木炭組合』があり、全盛期は100人以上の組合員が所属していました。先代の一郎が若い頃は原木林が豊富だったので、山の麓に仲間と泥窯を作り、作業が終わると窯をつぶして次の山に移動していたそうです。当時は伐採業者も多く、炭の生産に専念することができました」

「下野菊花炭」の特徴は？

「樹皮が密着していて、切り口が菊の花のように美しく、火つきや火持ちの良いことです。菊模様はクスギならではの特徴で、コナラやほかの広葉

樹ではきれいな『菊花』になりません。茶道では炭の燃え方や燃えつきるまでの時間も大切なので伝統の技術を用いて、常に同じ品質のものを提供し続けることにこだわっています」

— 現在は原木林の育成も？

「昔はどの家庭でも炭を燃料として使っていたが、石油の時代に変わってから需要が減り、山に従事する人が少なくなったため、放置林が増え炭用の原木が不足しています。

うちでは20年ほど前から、2・3ヘクタールの林

各地の茶道家に愛され続けている「下野菊花炭」。



地で、クスギを育て始めました。一般的に炭用のクスギは、6、7年のサイクルで伐採、更新できます。伐つてあげれば病気にもなりません、再び芽が出て新しい木が育ちます。広葉樹の林業がこの土地で長く受け継がれてきたのは、この里山の土地や暮らしに合っていたから。それぞれの地域に根づいた林業の再生が必要です」

技術の伝承にも取り組まれていますか？

「平成22年に、近隣の生産者から技術指導の要望を受け、彼らとともに『芳賀地区木炭生産者組合』を立ち上げました。生産安定のため、林地所有者の協力を得て、原木林の育成を軸に活動しています。将来を見据えて、新規参入者も受け入れたいです」

— 今後の展望についてお聞かせください。

『地域の子どもたちと『私の故郷の森（仮称）』
を作る構想があります。地元の幼稚園生にドン
グリを拾ってまいてもらい、その子たちが小
学生になつたら、芽が出たものを山に植えて
もらう。中学卒業の時期に、育つた木を私
たちが買い取り、伐採した木から芽が出
たら、成人式までに再び買い取り、木は
お茶炭に加工して茶席にあげる。この
循環を通して、子どもたちがいつでも
里帰りができる生きた森を作り、里山の
文化と産業、暮らしを次の世代につな
いでいけたらと思っています』

『ソロー』のある暮らしは想像以上に快適。人間も愛犬もストレスフリーな毎日です」

アメリカで生活していた時、暖炉のある家に住んでいました。愛かな炎を

身近に感じず暮らして心地良く、心から寛げるものでしたが、反面、煙突の掃除や薪の調達、暖炉のメンテナンスなど苦勞も絶えませんでした。帰国してからも、炎のある暮らしの快適さが忘れられずにいたところ、約2年前に、カタログハウスの冊子で『ソロー』を知り、購入を検討し始めました。以前から、カタログハウスの商品を愛用し、製品に対する信頼も厚かったので、ショールームで実物を見て、柔らかな炎の暖かさを体感した後には迷うことなく『ソロー』の購入を決断しました。

決め手になった一番の理由は、ペレットの使いやすさです。扱いが簡単で楽。着火も手が汚れず手軽だし、木の香りがいいですね。

もちろん配達もしてもらえますが、近くにあるジョイフル本田で気軽に購入できるのも助かります。値段も手頃だし、茨城の森を守る

ことにつながるのも嬉しいですね。

『ゾロ』は、見た目がシンプルなのはもちろんですが、使い方もダイヤルを回すだけでいいのとてもシンプル。地震自動消化装置もついているので、災害の時にも安心です。安全面に關しても不安は全くありません。

現在、夫婦二人と愛犬二頭で暮らしていますが、愛犬のためにも『ソロー』を選んだのは正解でした。以前は、寒い時期になるとケ

ージの中で縮こまっていることも多かったのですが、今はフロア中を自由にのびのびと過
ごしています。『スロー』本体が熱くなるこ
とはないので、やけどの心配もありません。
私自身も、以前は夜中に洗面所に立つと寒く
て辛かったのですが、今では寝る前に消火し
ても、明け方まで寒さを感じることはなくな
りました。

『ソロ』のある暮らしがあまりにも快適なので、別のフロアにもう1台設置することも検討しています。

「1階のフロア全体が『ソロー』一台でまんべんなく暖かくなります」

2 年程前、自然環境に恵まれた現在の地に中古住宅を購入しました。

以前は別荘として使用されていたため、エアコンが設置されておらず、冬は石油ストーブ、ファンヒーター、オイルヒーター、電気ストーブなど、あらゆる暖房器具を使っていたのですが、どの暖房器具も満足な暖かさを得ることができず、困り果てていた時に、『ソロー』の案内状が送られてきました。栃木の木材を使用したペレットを使うことで、「栃木の森を守る」というコンセプトに共感したのはもちろんのこと、シンプルでスタイリッシュなデザインに一目惚れ。すぐに、ソロー事業部に電話し、設置条件などを問い合わせました。さらに、宇都宮にあるショールームに足を運び、実際に『ソロー』の暖かさや機能を実感し、我が家のインテリアのアクセントになりそうな赤を購入しました。

実際に『ソロー』を使用して驚いたのは、部屋全体を包み込むような、優しい暖かさでした。心配していた煙突や火元もほとんど感じることもなくの香りとゆらゆら揺れる炎にとてもなぐさめられました。1階のフロア全体がまんべんなく暖かくなるので、それがお気に入りの場所となりました。他の暖房器具の乾燥することもないので、加えて健康にいいです。

心配だった日々のお手入れが率先して手伝ってくれるのが、子供でも簡単に、楽しいのが、できるのも『ソロー』ではないでしょうか。

我が家の愛猫も『ソロー』に入っているようで、家族の『ソロー』のある暮らしを楽しんでいます。寒い冬は苦手でしたが、『ソロー』を使いたくて、寒くなるまで使っています。

でした。心配していた煙突からの匂いや煙もほとんど感じることもなく、爽やかな木の香りとうらやうら揺れる炎に癒される毎日です。1階のフロア全体が『ソロー』一台でまんべんなく暖かくなるので、家族それぞれがお気に入りの場所できつろぐようになりました。他の暖房器具のように空気が乾燥することもないので、加湿器も使用しなくなりましたね。健康にもとてもいいと実感しています。

心配だった日々のお手入れも、子供たちが率先して手伝ってくれるので助かっています。子供でも簡単に、楽しみながらお手入れができるのも『ソロー』の魅力のひとつではないでしょうか。

我が家の愛猫も『ソロー』の暖かさを気に入っているようで、家族全員が『ソロー』のある暮らしを楽しんでいます。以前は、寒い冬は苦手でしたが、早く『ソロー』を使いたくて、寒くなるのを心待ちにしているんですよ。



小川 弘二さん・
美恵子さんご夫妻

●茨城県取手市

日々是山日和

第2話

はじめまして、林業班の宮崎です。

前号で登場した林業班の福山と一緒に、

ペレットの原料となる丸太を調達するため山に入り、

間伐、搬出(丸太の運び出し)をしています。

今回は、今年の夏一番暑い7月に千葉県の北東部に位置する

山武市で1500本のスギ、ヒノキを伐木した現場をレポートします。

今回のテーマ

伐木
(ばつぼく)



**健康な森を取り戻すために
木を伐って植林をする。**

今回の山仕事は千葉県山武市のスギ、ヒノキの林の伐木です。現場はいわゆる平地林。伐木を進めていけばいくほど、木陰がなくなり日照りが増えていくという、冬の山の間伐が恋しくなるような現場でした。

山武市には昔からサンブスギが植えられ銘木として扱われてきましたが、そのサンブスギに病気が蔓延し、市内の9割ほどが「溝腐れ」にかかっているそうです。正式には「非赤粘性溝腐病」といい、担子菌が引き起こす病気で感染した木は幹が腐朽し溝ができ、建築材としての利用価値がなくなってしまいます。今回の伐木目的は溝腐れの林をすべて伐ることです。秋に植林するため、切り落とした枝葉を列状に整理する「地ごしらえ」も行っていく予定です。さすがに1500本をチェーンソーで枝払い、玉切り(決められた長さに切る)をしていくのは厳しいため、「プロセッサ」という林業機械をレンタルして作業を進めていきました。

木を伐るのはチェーンソーですが、木を伐り倒した後の枝払い、玉切りはこのプロセッサが担当。樹高20mの木を2分くらいで処理してくれますが、人力で行うと、10分以上かかります。人力で炎天下の中、丸一日、伐木、枝払い、玉切りをするのは、まさに苦行……。優秀な「プロセッサ」君がいるおかげで、楽に一日100本以上の木々を処理することができました。感謝。

そして11月には、伐木した林に植林をしました。まだ「植林ロボ」はありませんので、秋風を感じながら人力で苗を植えていきます。今後ますます新しく生まれ変わる林に入って、健康な森づくりに協力できればと考えています。

新しい森を造るために「伐木」する。

今回の学び

高性能林業機械の導入で作業効率が大幅にアップした。平地林や皆伐の現場では有効だとはいえ、傾斜地での導入は森林保全の観点からは地山を崩し、水みちをつくる可能性もあり、慎重な作業道ルートの検証が必要だ。

⑤はい積みとゴミ

玉切りをした丸太は土場にいったんはい積みします。そしてトラックでペレット工場に運び出します。



今回の現場に落ちていたゴミの一部。森と人との距離が遠ざかっている象徴です。



④地ごしらえ

1,500本ともなると払った枝葉も大量になります。苗木が育ちやすいように枝葉はまとめて、列状に整理します。



③プロセッサとグラップル

チェーンソーで倒した木をグラップル(オレンジ色)がつかんで運び、プロセッサ(青色)が枝払いと玉切りをする連携作業です。



木をつかんで枝を払いながら、決まった長さの丸太に切断していきます。



②施業スタート

まとまった列を伐り倒すところから施業が始まります。ここを作業道にしながら、伐り進んでいきます。



①病気になったサンブスギ

感染した木は幹が腐朽し溝ができてしまいます。こうなると建築材としての利用価値がありません(詳しくはソー通信第4号参照)。



宮崎忠久 (林業経験2年)

インドア派だが体力を買われて林業班に。今は業務の大半を山林で過ごしている。季節を感じられるのが仕事の楽しみ。



ソローのペレットができるまで。



木に含まれるリグニンが接着剤となり、木粉が直径0.6センチ、長さ2センチのペレットになる。

チップを乾燥させたあと、粉状にしてペレット成型機へ。

間伐した木材を破砕機で細かくチップ状にする。

ペレットストーブ『ソロー®』に新しい仲間ができました。

ペレットストーブ・ソローSS-5

給排気管、設置工事費ふくむ
350,000円(税・送料込)

ペレット1か月分(10キロ×20袋)

14,960円(税・送料込)

着火材(60回分)

972円(税・送料込)

合計365,932円(税込)

設置できない場所

- 東京23区内、大阪市内の方(住宅密集地域による給排気管周りの空間確保が困難なため)
- 北海道、九州、沖縄、離島の方(提携ペレット工場がなく、地産地消型のペレット販売ができないため)
- 全国のマンション、賃貸住宅、集合住宅にお住まいの方(給排気管を取り付けられないため)



※色はブラックのみ

茨城・千葉・栃木限定モデルも好評販売中！



ペレットストーブ・ソロー

給排気管、設置工事費ふくむ
268,680円(税・送料込)

ペレット1か月分(10キロ×20袋)

14,960円(税・送料込)

着火材(60回分)

972円(税・送料込)

合計284,612円(税込)

**健康な森を増やすために
ペレットの地産地消で
日本の森を一緒に
守つていきたいと思いますか。**

「間伐」とは、間を伐る、つまり建築材や家具材、集成材に育たないムダ木(細木、曲がり木など)を伐り払うことで、これまで届かなかった太陽の光が木々の根元まで届くようにする発育のための手入れ法。この間伐によって、木は太く強く成長していきます。ところが今、その大切な間伐作業が思うように進んでいません。

安い輸入材に押されて国産材が昔のような価格で売れない↓山が収入をつくれなから、コストのかかる間伐ができない↓荒れ放題↓ますます売れる国産材が育たないからです。

この悪循環をこわしてくれるのは消費者しかいません。間伐材がペレットという燃料になり、山主さんたちの収入になれば、間伐作業は活発に行われるようになるからです。

ソローが皆さまにお届けするペレットは近隣県の森から伐り出した間伐材、林地残材です。



ブロック	地域	樹種	産地
A	青森、岩手、秋田	スギ	青森
B	山形、宮城	クロマツ	山形
C	新潟	スギ	新潟
D	福島、関東7県	スギ、ヒノキ、サワラ	茨城、千葉、栃木
E	長野、愛知	カラマツ、アカマツ	長野
F	静岡、山梨	スギ、ヒノキ	静岡
G	福井、富山、石川、岐阜	スギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ	岐阜
H	滋賀、京都、奈良、三重、和歌山、大阪	スギ、ヒノキ	京都
I	兵庫、岡山、鳥取	スギ、ヒノキ、コナラ	兵庫
J	島根、広島、山口	スギ、ヒノキ	山口
K	徳島、香川、愛媛、高知	スギ、ヒノキ	愛媛

A~Kの各ブロックにお住まいの方には、各ブロックの森の間伐材、林地残材で作ったペレットをご自宅にお届けします。

たとえば、Aブロックに在住の方には青森県産のスギでつくったペレットを、Jブロック在住の方には山口県産のスギ、ヒノキでつくったペレットをお届けします。

